

# Panasonic®

# 取扱説明書 パーソナルコンピューター <sup> →</sup> → ■ CF-534 → リーズ

もくじ 安全上のご注意 ページ <sub>安全上のご注意</sub>
お使いになる前に 本書について
困ったときは 困ったときの Q&A26
ソフトウェア使用許諾書32 仕様33 保証とアフターサービス38

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

・ 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

・ ご使用前に「安全上のご注意」(2~6ページ)を必ずお読みください。

困ったときは

必要なときに

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

▲ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
▲ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。



バッテリーパックの液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

<b>公</b> 禁止	<ul> <li>火中に投入したり加熱したりしない</li> <li>火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない</li> <li>プラス(+)とマイナス(-)を金属などで接触させない</li> <li>ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない</li> <li>バッテリーパックを変形させたり、分解や改造をしたりしない</li> <li>落下させたり強い圧力を加えたりするなどの衝撃を与えない</li> <li>強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめる</li> <li>強い衝撃が加わった場合や外観に変形や破損が見られる場合は、すぐに使用をやめる</li> </ul>
0	<ul> <li>■指定の方法で充電する</li> <li>■必ず、指定のバッテリーパックを使用する</li> <li>●指定(付属および指定の別売り商品)以外のバッテリーパックを使用しない</li> <li>■付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する</li> <li>・本シリーズ専用のバッテリーパックです</li> <li>■劣化したら新品と交換する</li> <li>●劣化したバッテリーパックを使用し続けない</li> </ul>

本機の廃棄時の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



【製品の取り扱い】 ■廃棄するとき以外は本機を分解しない

# ▲ 警告

# やけどや、低温やけど<sup>※1</sup>の原因になります。

※1 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者) などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

# 身体に悪影響を及ぼします。



■ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない
 ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

### 火災・感電の原因になります。

	■電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない
$(\mathbf{n})$	傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い
	ものを載せたり、束ねたりしない
禁止	●傷んだまま使用しない
	・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
	■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 ∨以外での使用はしない
	➡たこ足配線などを避け定格を超えないようにする
	■ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない
	■分解や改造をしない
	■雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない
	■本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない
	●内部に異物が入った場合は電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き 販売店に修理につ
	「「「「「「「「」」」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「
	■異常・故障時には直ちに使用をやめる
	■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く
	■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く ・破損した ・内部に異物が入った ・煙が出ている ・異臭がする
	■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く ・破損した ・内部に異物が入った ・煙が出ている ・異臭がする ・実常に熱い
0	<ul> <li>異常・故障時には直ちに使用をやめる</li> <li>以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く</li> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異臭がする</li> <li>・異常に熱い</li> <li>・上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> </ul>
0	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる</li> <li>以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く</li> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異常に熱い</li> <li>→上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる</li> </ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる</li> <li>以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く</li> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異常に熱い</li> <li>⇒上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる</li> <li>・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。</li> </ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く ・破損した ・内部に異物が入った ・煙が出ている ・異臭がする ・異常に熱い ・上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる ・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。</li> <li>■電源プラグは根元まで確実に挿し込む</li> </ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く         <ul> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異常に熱い             <ul></ul></li></ul></li></ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く         <ul> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異臭がする</li> </ul> </li> <li>●上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる         <ul> <li>・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。</li> </ul> </li> <li>■電源プラグは根元まで確実に挿し込む         <ul> <li>・傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しない</li> <li>■水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉</li> </ul> </li> </ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く         <ul> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異常に熱い             <ul> <li>・上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> </ul> </li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる                 <ul> <li>・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。</li> <li>■電源プラグは根元まで確実に挿し込む                     <ul> <li>・傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しない</li> <li>■水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉じる</li> <li>●</li></ul></li></ul></li></ul></li></ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く         <ul> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異常に熱い             <ul> <li>・上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> </ul> </li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる                 <ul> <li>・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。</li> <li>■電源プラグは根元まで確実に挿し込む                     <ul> <li>・傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しない</li> <li>■水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉じる</li></ul></li></ul></li></ul></li></ul>
	<ul> <li>■異常・故障時には直ちに使用をやめる 以下のような異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く     <ul> <li>・破損した</li> <li>・内部に異物が入った</li> <li>・煙が出ている</li> <li>・異臭がする</li> <li>・異常に熱い         <ul> <li>・上記の処置後、販売店に修理について相談する</li> </ul> </li> <li>■電源プラグのほこりなどは定期的にとる         <ul> <li>・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。</li> </ul> </li> <li>■電源プラグは根元まで確実に挿し込む         <ul> <li>・傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しない</li> </ul> </li> <li>水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉じる         <ul> <li>・内部に異物が入った場合は電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店に修理について相談する</li> </ul> </li> </ul></li></ul>

# ▲ 警告



※2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用する場合は、無線機能をオフにしてください。ただし、航空機 の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してくださ い。

※3 CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

### ▲ 注意 火災・感電の原因になることがあります。 ■電源プラグを接続したまま移動しない ●電源コードが傷ついたら、すぐに電源プラグを抜いて販売店に相談する ■LAN コネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない 禁止 ●以下のようなネットワークや回線を接続しない ・1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T 以外のネットワーク ・電話回線(IP 電話、一般電話回線、内線電話回線(構内交換機)、デジタル公衆電話など) ■AC アダプターに強い衝撃を加えない ▶落とすなどして強い衝撃が加わったAC アダプターをそのまま使用し続けない ➡ACアダプターの修理は販売店に相談する ■高温の場所に長時間放置しない ・火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部 品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶 縁不良などにより火災・感電につながることがあります。 ■通風孔(排気)をふさがない ➡布団や毛布などの上で使用したり、手や物で通風孔をふさがない ■電源コードは、プラグ部分を持って抜く ■必ず指定のAC アダプターを使用する ◆指定(付属および指定の別売り商品)以外のAC アダプターを使用しない <モデム内蔵モデルのみ> ■モデムは、一般電話回線で使用する →以下のような回線などに接続しない 会社、事務所などの内線電話回線(構内交換機) ・デジタル公衆電話 ・本機で対応していない国や地域 ※4

※4本機のモデムが対応している国や地域については7ページをご覧ください。

# 倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

○ 禁止

■不安定な場所に置かない
■本機の上に重いものを置かない

# 身体に悪影響を及ぼすことがあります。

	■CD/DVDドライブの内部をのぞきこまない ・内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。 →内部の点検・調整・修理は販売店に相談する
示止	■ひひ割れたり炎形したりしたティスクは使用しない
	<ul> <li>・高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。</li> <li>➡円形でないディスクや、接着剤などで補修したディスクも同様に危険なので、使用しない</li> </ul>
0	<ul> <li>■1時間ごとに10~15分間の休憩をとる</li> <li>・長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。</li> </ul>

安全上のご注意

# やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。



■高温環境・低温環境で使用する場合、直接触れない

●指紋の読み取りなどで直接触れる必要がある場合は、できるだけ短時間で操作する

- ●高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。このような環境での使用は避けてください。
   ●高温環境・低温環境で使用する場合、周辺機器の一部は正常に動作しない場合があります。周辺機器の使用環境 条件を確認してください。

法規情報

本装置はレーザー利用機器です。 ご注意 - ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。分解や修 理は行わないでください。



#### <モデム内蔵モデルのみ>

● 本機のモデムは下記の国または地域の規格に準拠しています。

アイスランド、アイルランド、アメリカ、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アンドラ、イギリス、イスラエル、 イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、エクアドル、エストニア、エジプト、オーストラリ ア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、クウェート、クロアチア、サウジアラビア、 サンマリノ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、台湾、 チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、バチカ ン市国、パラグアイ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ブルネイ、ペ ルー、ベルギー、ベネズエラ、ポーランド、ポルトガル、ホンジュラス、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ 共和国、モナコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア (2014 年 10 月 1 日現在) 45-J21

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置 がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B 2-J-2

14-J-1-1

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足し ております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。 (社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示) 3J-1-1

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生 ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器 / 装置 / システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器 / 装置 / システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
- お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障 / 修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化 / 消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、『取扱説明書』の内容に注意してください。



法規情報

<無線 LAN / Bluetooth 内蔵モデルのみ>

日本国内で無線 LAN / Bluetooth をお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されてい る移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用さ れています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用 周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための 処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお 困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

<無線 LAN 内蔵モデルのみ>

2.405/0F4 この機器が、2.4 GHz 周波数帯(2400 から 2483.5 MHz)を使用する直接拡散(DS)方式/直交周波数分 ■■■■ 割多重方式(OF)の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。 25-J-2-1 < Bluetooth 内蔵モデルのみ>

2.4FH3 この機器が、2.4 GHz 周波数帯(2400 から 2483.5 MHz)を使用する周波数ホッピング(FH)方式の無線

5 GHz 帯の無線 LAN をお使いになる場合のお願い 5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外で使用できません。

お客様が 2.4 GHz 帯 11n モードで無線 LAN をお使いの際に、無線 LAN のデバイス・プロパティにて 802.11n チャンネル幅を「自動」(40 MHz 帯域幅も可能) へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を 20 MHz へ戻してください。

43-J-2

お客さまが 2.4 GHz 帯 11n モードで無線 LAN をお使いの際に、無線 LAN のデバイス・プロパティにて 802.11n チャンネル幅を「自動」(40 MHz 帯域幅も可能) へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無 線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場 合には、本設定を 20 MHz へ戻してください。

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネル ギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力 を削減することができます。(→℃) [Reference Manual」 [Saving Power])

# 本書について

本書では名称などを以下のように表記します Windows 8.1 は Windows 8.1 を指します。 Windows 7 は Windows 7 を指します。

■ 表記について

お願い	安全にお使いいただくための情報を記載しています。
お知らせ	お使いいただくうえで便利な情報を記載しています。
Enter :	[Enter] キーを押すことを意味します。
<b>Fn + F5</b> :	[Fn] キーを押しながら、[F5] キーを押すことを意味します。
Windows 8.1	
● チャームを表示する	5 :
	ポインターを画面右上隅(または右下隅)に合わせ、そのまま右側に移動すること。画面
	の右端から内側にフリックすることによっても表示することができます。
• 🔅 - 🕛 :	🙀(設定)をクリックし、続いて😈(電源)をクリックすること。
Windows 7	
🗑 (スタート)-[す⁄	べてのプログラム]:
	画面上の 🚱 (スタート)をクリックした後、[ すべてのプログラム ] をクリックすること
	を意味します。ダブルクリックが必要な場合もあります。
→ :	本書内や、パソコン本体に保存されている『Reference Manual』などの参照先を意味しま
	す。
	画面で見るマニュアルを意味します。

本書では名称等を以下のように表記します。

- ・「Windows<sup>®</sup> 8.1 Pro 64 ビット(日本語版)」を「Windows」または「Windows 8.1」と表記します。
- [Windows<sup>®</sup> 7 Professional 32 ビット (Service Pack 1 適用済み) (日本語版)」および [Windows<sup>®</sup> 7 Professional 64 ビット (Service Pack 1 適用済み) (日本語版)」を「Windows」または [Windows 7] とま
- Professional 64 ビット(Service Pack 1 適用済み)(日本語版)」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。
- ・DVD MULTI ドライブを「CD/DVD ドライブ」と表記します。
- ・DVD-ROM や CD-ROM などの円形のメディアを「ディスク」と表記します。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしないと使えない機能や表示できない画面があります。
- 別売品の最新情報については、カタログなどをご覧ください。
- 本書の内容に関しましては、事前の予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り換えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。
- 商標

Microsoft とそのロゴ、Windows<sup>®</sup>、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Core、PROSet は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。 Bluetooth<sup>®</sup> は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

Roxio Creator は、Corel Corporationの米国における登録商標または商標です。

その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

■ 画面で見るマニュアルについて

パソコンの画面上で、『Reference Manual 』および『Important Battery Tips 』を見ることができます。

- [Reference Manual]
- 『Reference Manual 』は、本機を十分に活用していただくための機能について説明しています。

● 『Important Battery Tips』 『Important Battery Tips』では、バッテリーの使い方について役立つ情報を記載しています。より長時間/長寿命 でバッテリーをお使いいただく方法なども説明しています。

これらのマニュアルを見るには:

### Windows 8.1

スタート画面で [Manual Selector] のタイルをクリックし、ご覧になりたいマニュアルを選択して [ 開く ] をクリック する。

### Windows 7

デスクトップ上の [Manual Selector] をダブルクリックし、ご覧になりたいマニュアルを選択して [ 開く ] をクリック する。

お知らせ

● マニュアル画面の左側に[目次]タブと[検索]タブが表示されます。タブをクリックして、ご覧になりたい項目を表示させてください。

# 各部の名称と働き



- A:スピーカー → 迎 『Reference Manual』 [Key Combinations] B:スマートカードスロット <スマートカードスロット内蔵モデルのみ>
  - → ∰ 『Reference Manual』 [Smart Card]
- C:CD/DVD ドライブ

→ 💬 『Reference Manual』 [CD/DVD Drive]

- D:無線LANアンテナ /Bluetoothアンテナ <無線LAN内蔵モデルのみ> → ① 『Reference Manual』「Wireless LAN」
- 「Bluetooth」 E:カメラ
  - <カメラ内蔵モデルのみ> → ① 『Reference Manual』「Camera」
- F: LCD
  - <タッチパネル搭載モデルのみ>
  - → ∑ 『Reference Manual』 [Screen Input Operation]
- G:電源スイッチ
- H:ファンクションキー
- → 型 『Reference Manual』「Key Combinations」 I: 指紋センサー
  - <指紋センサー内蔵モデルのみ>
    - → 💬 『Reference Manual』 [Fingerprint Reader]
- J:キーボード
- K:状態表示ランプ
  - A: Caps Lock ランプ(キャップスロック)
  - 1: NumLk ランプ(テンキーモード)
  - ① ScrLk ランプ (スクロールロック)
  - 目:ドライブ状態表示ランプ
  - ISD メモリーカード状態表示ランプ (点滅:アクセス中)
     → ① 『Reference Manual』「SD Memory Card」

- 1:バッテリー状態表示ランプ
- → 型 『Reference Manual』 [Battery Power] ①:電源状態表示ランプ
  - (消灯:電源オフまたは休止状態、緑点灯:電源オ ン、緑点滅:スリープ状態、短い間隔で緑点滅: 温度の低下による電源オン不可またはリジューム 不可状態)

#### L:マイク入力端子 コンデンサー型マイクロホンを使用できます。それ以 外のものを使用すると、音声が入力されなかったり、 誤動作の原因になったりする場合があります。

- M:オーディオ出力端子 市販のヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続 することができます。 接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなりま す。
- N:ペンホルダー <タッチパネル搭載モデルのみ>
- O : ハンドル
- P:フラットパッド



- → ① 『Reference Manual』 [PC Card / ExpressCard] C:PC カードスロット
  - → 💬 『Reference Manual』 [PC Card / ExpressCard]
- D: SD メモリーカードスロット SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置か ないでください。
  - → 💬 『Reference Manual』 [SD Memory Card]
- E: 無線切り替えスイッチ
  - → 💬 『Reference Manual』 [Disabling/Enabling Wireless Communication [Wireless LAN] [Bluetooth]
- F: USB3.0ポート
- → 💬 『Reference Manual』 [USB Devices] G:電源端子
- H: LANコネクター
  - → 💬 『Reference Manual』 [LAN]
- I: USB2.0ポート → 1 [Reference Manual] [USB Devices] J:HDMI 端子
- → 1 [Reference Manual] [External Display]
- K: 外部ディスプレイコネクター(VGA) → 1 [Reference Manual] [External Display]
- L:通風孔(排気)
- M: セキュリティロック Kensington 社製のセキュリティ用ケーブルを接続する ことができます。詳しくは、ケーブルに付属の取扱説明 書をご覧ください。セキュリティロックおよびセキュリ ティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗 難事故による被害については責任を負いかねます。

- N:2nd LANコネクター<sup>\*1</sup>/モデムポート<sup>\*2</sup>/IEEE 1394 イン ターフェースコネクター<sup>\*3</sup>/ラグドUSB 2.0 ポート<sup>\*4</sup>
  - → 迎 『Reference Manual』 [LAN]
- <sup>\*2</sup> モデム搭載モデルのみ
  - → 🖓 『Reference Manual』 [Modem]
- \*3 IEEE 1394 インターフェースコネクター搭載モデルのみ → 💬 『Reference Manual』 [IEEE 1394 Devices]
- <sup>\*4</sup> ラグド USB 2.0 ポート搭載モデルのみ
- O:シリアルコネクター
- P: 拡張バスコネクター
  - → 💭 『Reference Manual』 [Port Replicator]
- Q:RAM モジュールスロット → 💬 『Reference Manual』 [RAM Module]
- R: バッテリーラッチ
- S: ハードディスクドライブ
  - → 1 [Reference Manual] [Hard Disk Drive]

### お知らせ

● 右側または後側のカバーを開く ときは、カバーを押し下げて引 き出してください。



本機には、右のイラストの〇 で囲んだ部分に、磁石および 磁気を帯びた部品が使用され ています。これらの部分に、 金属や磁気メディアを接触さ せないようにしてください。



# はじめて使うとき

- 準備
  - ① 付属品を確認する。

万一足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください(→38ページ)。



(→ ∰ 『Reference Manual』 [Screen Input Operation])

② パソコン本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を確認する(→32ページ)。

- \*1 付属の電源コードは、CF-AA5713A 以外の製品等に転用しないでください。 28-J-1 必ず接地接続を行ってください。接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を 外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 31-J-2
- バッテリーパックを取り付ける
- ① パソコン本体を裏返す。 PUSH マーク(A)を押しながら、カバーをスライドして取り外す。 スロットの奥までしっかりとバッテリーパック(B)を挿入する。 ④ カバーをスライドして元の位置に取り付ける。 ■ バッテリーパックを取り外す 上記の手順 ③ で、ラッチ(C)をスライドした状態でバッテリーパックのタブ (D)を手前へ引く。 お願い В カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付け られていない状態でパソコンを持ち運ぶと、バッテリーパックが落ちるおそれ があります。 お知らせ 4 電源が切れている状態でも電力を消費します。満充電のバッテリーの残量がな くなるまでの期間は次のとおりです。 ・電源オフ時:約9週間(CF-VZSU71U使用時)/ 約 6 週間(CF-VZSU72U使用時) /約 15 週間(CF-VZSU46AT使用時) スリープ状態:約3.5日(CF-VZSU71U使用時)/ 約2日(CF-VZSU72U使用時)/約8日(CF-VZSU46AT使用時) C • 休止状態:約9日(CF-VZSU71U使用時)/約6日(CF-VZSU72U使用時)/ D 約 15 日(CF-VZSU46AT使用時) パソコン本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いてお いてください。ACアダプターをコンセントに接続しているだけで電力が消費さ れます。

■ スタイラスペンの取り付け < タッチパネル対応モデルのみ >



スタイラスペンはなくさないように、ペン用ケーブルで左右どちらかの取り付け穴(A)に取り付けてください。



- ペン用ケーブルを強く引っ張らないでください。スタイラスペンを離したときに、パソコン本体や人などに当たることがあります。
- ディスプレイを開ける





①ラッチ(A)の上部を押してロックを解除する。 ②ディスプレイを持ち上げて開ける。

# 1 バッテリーパックを取り付ける。

- バッテリーパックとパソコンのコネクター部には触れないでください。コネクターが汚れたり損傷したりすると、接触が悪くなり、バッテリーやパソコンが正しく動作しないことがあります。
- 使用するときは必ずカバーを取り付けてください。

### 2 パソコンを電源に接続する。

自動的にバッテリーの充電が始まります。

### お願い

- ●「はじめて使うとき」の作業が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、 無線切り替えスイッチを入にしたりしないでください。
- はじめて使うときは、バッテリーパックとAC アダプター以外の機器を接続しないでください。
- ACアダプターの取り扱いについて
   落雷などにより急な電圧の低下が起こり、パソコンに影響を与えることがあります。このような事態に備えて、無停電電源装置(UPS)を使用することをお勧めします。

### 3 パソコンの電源を入れる。

- ① 無線切り替えスイッチ (→12ページ)が切であることを確認する。
- ② 電源スイッチ (→11ページ)を押し続け、電源状態表示ランプ (○
   (→11ページ)が点灯してから離す。

### お願い

- 電源スイッチを連続して繰り返しオン/オフしないでください。
- 電源スイッチを4秒間以上押し続けると、パソコンが強制終了します。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまでは、10 秒以上お待ちください。
- ドライブ状態表示ランプ 目 が消灯するまで、次の操作は行わないでください。
  - ・AC アダプターの接続や取り外し
  - ・電源スイッチを押す

- キーボード、フラットパッド、タッチパネル(タッチパネル対応モデルのみ)、
   外部マウスに触れる
- ・ディスプレイを閉じる
- 無線切り替えスイッチを入/切する
- CPU の温度が高いときは、過熱を防ぐためパソコンが起動しないことがあります。温度が下がるまで待ってから電源を入れてください。温度が下がっても起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- ●「はじめて使うとき」の作業が完了するまで、セットアップユーティリティの工場 出荷時の設定は変えないでください。

### 4 言語とOS(32ビットまたは64ビット)を選ぶ。

#### お願い

- 一度選んだ言語は変更できません。別の言語に変更するには、Windows を再イン ストールする必要があります。
  - 言語とOS(32ビット または64ビット)を選び、[OK] をクリックする。
     確認メッセージで[OK] をクリックすると言語の設定が始まります。
     確認メッセージで[Cancel] をクリックすると「Select OS」画面に戻ります。
     言語とOSの設定は、約15分かかります。
  - ② 終了画面が表示されたら、[OK] をクリックしてパソコンをオフにする。

#### 5 Windows をセットアップする。

#### Windows 8.1

言語を選択し、[次へ] をクリックする。

### Windows 7

パソコンの電源を入れる。

画面の指示に従って操作を行う。

- パソコンは、何度か再起動を繰り返します。その間、キーボードやフラット パッドに触れず、ドライブ状態表示ランプ 目 が消えるまでお待ちください。
- 電源を入れた後 Windows のセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が 真っ黒になったり、ポインターだけが表示された状態がしばらく続いたりしま すが、故障ではありません。そのままお待ちください。
- Windows のセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択(クリック)には、フラットパッドを使ってください。
- Windows のセットアップは Windows 8.1 約5分/ Windows 7 約20分かかり ます。画面のメッセージを確認してから、次の手順に進んでください。
- 無線通信の設定は、Windows セットアップが終了してから行うことができます。

Windows 8.1 「オンラインに接続」の画面では [ この手順をスキップする ] を クリックしてください。

Windows 7 「ワイヤレスネットワークの接続」の画面は表示されない場合が あります。

● 日付や時刻、タイムゾーンを確認してください。

#### お願い

- ユーザー名、パスワード、背景(壁紙)、セキュリティ設定は、Windows のセット アップ後に変更できます。
- パスワードを忘れないでください。パスワードを忘れると、Windows にログオンできなくなります。あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくことをお勧めします。

- ユーザー名とパスワードにCON、PRN、AUX、CLOCK\$、NUL、COM1 ~ COM9、LPT1 ~ LPT9、@、&、スペースを使用しないでください。特に「@」 を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくても画面でパ スワードの入力が求められます。空白で Windows 8.1 サインイン/
   Windows 7 ログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しく ありません」と表示され、Windows 8.1 サインイン/ Windows 7 ログオンで さなくなります。この場合は、Windows の再インストールが必要になります。 (→22ページ)
- コンピューター名には、0~9の数字、A~Z、a~zのアルファベットおよびハイフン(-)を使ってください。「いくつかの文字が有効ではありません。」と表示されたときは、コンピューター名に上記以外の文字を使っていないか確認してください。上記以外の文字は使っていなくてもこの表示が現れるときは、キー入力を英語(「EN」)にして入力してください。
- キーボードは正しく設定してください。正しく設定しないと、キーボードからの入力ができなくなることがあります。

### 6 リカバリーディスクを作成する

リカバリーディスクの作成を希望される場合は、Windows が起動したら、リカ バリーディスクを作成する。

( → ∰ 『Reference Manual』 [Recovery Disc Creation Utility])

# お使いになる前に

#### <sup>お知らせ</sup> ● PC情報ビューアー

本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデー 夕量は、1回あたり最大 1024 バイトです。

これらの情報は、万が一八一ドディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報を ネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするに は、PC 情報ビューアーの [ ハードディスク使用状況 ] の [ 管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする ] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。(→ ① 『Reference Manual』 [ Checking the Computer's Usage Status])

### • Windows 8.1

工場出荷時の設定ではデスクトップ画面に韓国語のショートカットが表示されることがあります。必要に応じて削 除してください。

- Windows 7 ハードディスク内のリカバリー領域を削除した場合、リカバリーディスクは作成できません。
- 無線機能を使う前に

① 無線切り替えスイッチをON にスライドする

### Windows 8.1

② チャームを表示し、
 [PC 設定の変更] - [ネットワーク] - [機内モード] をクリックする。
 [Wi-Fi] を [オン] にする(無線LAN)。
 [Bluetooth] を [オン] にする(Bluetooth)。

パーティションを変更する

1つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、1つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。

工場出荷時、データの保存などに使用できるパーティションは1つです。

### ① Windows 8.1

デスクトップ画面の左下にある 💷 を右クリックする。

### Windows 7

● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

② [ディスクの管理] をクリックする。

- ③ Windowsが使用しているパーティション(工場出荷時はCドライブ)を右クリックし、[ボリュームの縮小] をクリックする。
  - パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。
- ④ [縮小する領域のサイズ]を入力し、[縮小]をクリックする。
  - 画面に表示されているサイズよりも大きなサイズには指定できません。
  - Windows 7を再インストールする際に[System用とOS 用パーティションに再インストールする]を選択する (→23ページ)ためには、[縮小後の合計サイズ] が (Windows 8.1) 80GB / (Windows 7) 60GB以上になるように設定する必要があります。
- ⑤ [未割り当て] 領域を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム] をクリックする。
  - [未割り当て]領域は手順④で圧縮した領域です。
- ⑥ 画面の指示に従って操作を行い、[完了] をクリックする。
  - 画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。
- お知らせ
- [未割り当て]領域が残っている場合は手順⑤から、Windowsの領域にまだ余裕がある場合は手順③からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。
- パーティションを削除するには、手順③の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除]を クリックしてください。
- Windows 8.1 言語を選択する

以下の手順で初回起動時に選択した以外の言語に切り替えることができます。

- 次のどちらかの手順を行う。
  - デスクトップ画面の左下にある 🔣 を右クリックする。
  - スタート画面で
     スタート画面で
- ② [コントロールパネル] をクリックする。
- ③ [時計、言語、および地域] [言語] [言語の追加] をクリックする。
- ④ 言語を選択し、[追加]をクリックする。 言語によっては複数の選択肢が表示されます。[開く]をクリックして、言語を選択し、[追加]をクリックしてください。
- ⑤ 切り替えたい言語を選択し、[オプション] をクリックする。
- ⑥ [この言語を第一言語にする] をクリックする。

お知らせ

- [この言語を第一言語にする]が表示されない言語には切り替えられません。画面の指示に従って操作を行っ てください。
- ⑦ [今すぐログオフする] をクリックする。
- ⑧ Windowsにサインインする。

### 起動する

電源スイッチ(→11ページ)を押し、電源状態表示ランプ(→11ページ)が点灯したら手を離します。

お願い

- 電源スイッチを連続して押さないでください。
- 電源スイッチを4秒以上押すと、パソコンが強制終了します。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまでは、10秒以上お待ちください。
- ドライブ状態表示ランプ目が消灯するまで、次の操作は行わないでください。
  - ・AC アダプターを抜き挿しする
  - ・電源スイッチを操作する
  - ・キーボード、フラットパッド、タッチパネル、外部マウスに触れる
  - ディスプレイを閉じる
  - 無線切り替えスイッチを操作する

### シャットダウンする

### Windows 8.1

- パソコンをシャットダウンするには、以下の手順を実行します。
- ・スタート画面からの操作
  - ① 🕛 [シャットダウン]をクリックする。
- ・デスクトップ画面からの操作
  - ① デスクトップ画面の左下にある 🔣 を右クリックする。
  - ② [シャットダウンまたはサインアウト] [シャットダウン]をクリックする。

### Windows 7

① 🚱 (スタート) - [シャットダウン] をクリックする

お知らせ

- パソコンの電源を切るには、以下の手順で行ってください。
  - ① チャームを表示し、 🔂 [PC 設定の変更] [保守と管理] [回復] をクリックする。
  - ② 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動する] をクリックする。
  - ③ [PC の電源を切る] をクリックする。

# 起動 / シャットダウンするとき

- 次の操作は行わないでください
  - ・AC アダプターを抜き挿しする
  - ・電源スイッチを操作する
  - ・キーボード、フラットパッド、クリック右タッチパネル、外部マウスに触れる
  - ディスプレイを閉じる
  - 無線切り替えスイッチを操作する

### お知らせ

- ▶ 電力の消費を抑えるために、工場出荷時には次のように設定されています。
  - 何の操作もせずに LCD の画面が自動的にオフになるまで:
     10 分(AC アダプター接続時)
     5 分(バッテリー駆動時)
  - 何の操作もせずにパソコンが自動的にスリープ状態<sup>\*1</sup>になるまで:
     20分(ACアダプター接続時)
     15分(バッテリー駆動時)
  - <sup>\*1</sup> スリープ状態からのリジュームについては、 → 型 『Reference Manual』「Sleep or Hibernation Functions」をご覧くだ さい。

# 取り扱いとお手入れ

# 操作環境について

- パソコンは平らで落下のおそれのないところに置いてください。また、立てて置いたりしないでください。倒れて本体に強い衝撃が加わると、誤動作や故障の原因になります。
- 操作環境 適切な温度範囲:操作時 : (HDD ヒーターなしモデル) 0 °C ~ 50 °C (IEC60068-2-1、2)<sup>\*1</sup> (HDD ヒーター付きモデル) -10 °C ~ 50 °C (IEC60068-2-1、2)<sup>\*1</sup> 保管時 : -20 °C ~ 60 °C
   適切な湿度範囲:操作時 : 30% RH ~ 80% RH (結露なきこと)

保管時 : 30% RH ~ 90% RH (結露なきこと) 上記の温度 / 湿度の範囲であっても、極端な環境で長時間ご使用になると、パソコンの劣化につながり、製品寿 命が短くなる可能性があります。

- <sup>\*1</sup> 温度が高いところや低いところで本機を使用するときは、本機に直接触れないでください。(→6 ページ) 0℃以下の場所でパソコンがぬれていると、凍結による故障の原因になることがあります。0℃以下の場合は十分に乾燥させてください。
- パソコンが損傷するおそれがあるため、次の場所には置かないでください。
- ・電気製品の近く。画像が乱れたり、雑音が起きたりすることがあります。
  ・極端に高温または低温のところ。
- 操作中は、パソコンの温度が上昇しますので、熱に弱いものを近くに置かないでください。

# 取り扱い上のご注意

本機は、ディスプレイやハードディスクへの衝撃が小さく抑えられるよう設計されていますが、衝撃による故障は保 証いたしかねます。取り扱いには十分注意してください。

- パソコンを持ち運ぶとき
  - パソコンの電源を切ってください。
  - 外部装置、ケーブル、カード、その他本体から突き出るものをすべて外し、コネクターのカバーを閉じてください。
  - ・CD/DVD ドライブからディスクを取り出してください。
  - 落としたり、硬いものにぶつけたりしないでください。
  - ディスプレイを開けたままにしないください。
  - ・ディスプレイ部分を持って運ばないでください。
- ディスプレイとキーボードの間に紙きれなどのものをはさまないでください。
- 航空機には手荷物として持ち込んでください。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。
- 予備のバッテリーパックを持ち運ぶときは、コネクター保護のためビニール袋などに入れてください。
- フラットパッドは、指で操作するよう設計されています。フラットパッドの上に物を置いたり、跡が付くような先のとがったものや硬いもの(つめ、鉛筆、ボールペンなど)で強く押したりしないでください。
- 油などをフラットパッドに付着させないでください。ポインターが正しく動かなくなることがあります。
- 移動中に落下させたり、ぶつけたりしてけがをしないように注意してください。
- < タッチパネル対応モデルのみ >
- 付属のペン以外でタッチパネルに触れないでください。タッチパネルの上に物を置いたり、跡が付くような先のとがったものや硬いもの(つめ、鉛筆、ボールペンなど)で強く押したりしないでください。
- 画面にほこりや油などの汚れが付着したときは、付属のペンを使わないでください。画面やペンに異物が付着していると、画面に傷を付けたり、ペンの操作ができなくなったりすることがあります。
- 付属のペンは、画面操作以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、ペンが損傷したり、画面に傷を付けたりすることがあります。

### ■ 周辺機器を使用する場合

周辺機器の損傷を防ぐため、下記および『Reference Manual』の記載事項をお守りください。また、周辺機器の取扱 説明書をよくお読みください。

- パソコンの仕様に合った周辺機器を使用してください。
- コネクターの形状、向きに注意して正しく接続してください。
- 接続しにくい場合は、無理に押し込まず、コネクターの形状、向き、ピンの並び方などを確認してください。
- ネジで固定する場合は、しっかり締めてください。
- パソコンを持ち運ぶときは、ケーブルを外してください。ケーブルは無理に引っ張らないでください。

- バッテリー残量表示補正について
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正には時間がかかりますが、故障ではありません。
  - < Windows のシャットダウン後にバッテリー残量表示補正を行った場合 >
  - ・満充電にかかる時間:約2時間(CF-VZSU71U/CF-VZSU72U使用時)/約3時間(CF-VZSU46AT使用時)
  - ・完全放電にかかる時間:約4時間(CF-VZSU71U使用時)/約3時間(CF-VZSU72U使用時)/約4時間 (CF-VZSU46AT使用時)
     Windowsのシャットダウンを行わずにバッテリー残量表示補正を行った場合は、これより長い時間がかかるこ

Windows のジャットタワノを行わずにハッテリー残重表示伸圧を行った場合は、これより長い時間かかかることがあります。

# お手入れ

ディスプレイのお手入れ

- ディスプレイの表面に水滴や汚れが付着した場合、すぐにふき取ってください。そのまま放置すると汚れが取れな くなる恐れがあります。
- < タッチパネル対応モデルのみ >
- 付属の専用布をお使いください。(詳しくは 『Reference Manual』の「Suggestions About Cleaning the LCD Surface」をご覧ください。)
- < タッチパネル非対応モデルのみ >
- ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。

ディスプレイ以外のお手入れ

 ● ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。洗剤を使うときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、 固く絞ってください。

#### お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液体がパソコンの内部に入ると、誤動作や 故障の原因になります。

# 無線LAN ご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線 LAN のセキュリティに関する設定は行われていません。

無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。(→ 🙄 『Reference Manual』「Wireless LAN」、お使いの無線 LAN アクセスポイントの説明書)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線 LAN アクセスポイント(別売り) との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点 があります。

その反面、ある範囲であれば障害物(壁等)を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていない と、次のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。

- ・ID やパスワード
- ・クレジットカード番号等の個人情報
- ・メール内容
- 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性が あります。

- ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)

コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する(破壊)

本機の無線 LAN 機能や無線 LAN アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定 が用意されています。本機では、使用する無線 LAN アクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買 い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセ キュリティに関する設定を行ってください。 無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、 ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さまご自身の判断と責任 においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相 談センターにご相談ください。

### パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、<u>お客さまの責任に</u> おいて消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコン の中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。したがって、そのパソ コンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。ところが、このハードディ スク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、 一般には次のような操作を行います。

- ・「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる

- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出 す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。 したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場 合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、 予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク内のデー タを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。(→ 🙄 『Reference Manual』「Hard Disk Data Erase Utility」)

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフト ウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

# インストールする

ソフトウェア(OS)をインストールすると、パソコンは工場出荷時の状態に戻ります。<u>重要なデータは、再イン</u> <u>ストール前に、他のメディアまたは外部ハードディスクにバックアップを取っておいてください。</u>

#### お願い

ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。

修復用領域は以下の手順で確認してください。

#### ① Windows 8.1

デスクトップ画面の左下にある 🔣 を右クリックする。

Windows 7 
 (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックして、[管理]をクリックする。
 ・標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

② [ディスクの管理]をクリックする。

Windows 8.1 「すべてを削除してWindows を再インストールする」を使う

#### 準備

- すべての周辺機器を取り外してください。
- AC アダプターを接続し、操作が完了するまで取り外さないでください。

### 1 「すべてを削除してWindows を再インストールする」を実行する。

- ① チャームを表示し、 🖸 [PC 設定の変更] [保守と管理] [回復] をクリックする。
- ②「すべてを削除してWindows を再インストールする」の下の[開始する] をクリックする。
- ③ [次へ]をクリックする。
- ④ 以下のいずれかの方法を選択する。
  - ファイルの削除のみ行う Windowsの再インストールを短時間で終えることができます(約20分)。
  - ドライブを完全にクリーンアップする

クリーンアップすることで、削除したファイルは簡単には回復できなくなるためセキュリティは高まりま すが、処理時間が長くなります(約 140 分)。

画面の指示に従って操作してください。終了後、パソコンが再起動します。

 パソコンの電源を切るなどして、インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、 データが消失してインストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

### 「はじめて使うとき」の手順4(→15ページ)を実行する。

### お知らせ

● 日付や時刻、タイムゾーンを確認してください。

### 3 Windows Update を行う。

2

お買い上げ時にインストールされた OS(Windows 8.1 または Windows 7)を再インストールすることができます。 Windows 8.1 「すべてを削除して Windows を再インストールする」での再インストールがうまくいかない場合、次の手順を実行してください。

準備

- すべての周辺機器を取り外してください。
- AC アダプターを接続し、操作が完了するまで取り外さないでください。
- 1 セットアップユーティリティを起動する。

### Windows 8.1

① チャームを表示し、 🐼 - [PC 設定の変更] - [保守と管理] - [回復] をクリックする。

② 「PC の起動をカスタマイズする」の[今すぐ再起動する] をクリックする。

③ [トラブルシューティング] - [詳細オプション] - [UEFI ファームウェアの設定] - [再起動] をクリックする。 Windows 7

パソコンの電源を入れ、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、 F2 または Del を数回押す。

- [Panasonic] 起動画面が表示されない場合は、 F2 または Del を押したままパソコンの電源を入れてください。
- パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- 2 セットアップユーティリティのすべての項目をメモし、F9 を押す。 確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押してください。
- [UEFI起動] の設定を確認する。
   Windows 8.1 をお使いの場合: [有効]

Windows 7 をお使いの場合:[有効]

# F10 を押す。 確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、 Enter を押してください。 セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

- 5 「Panasonic」起動画面が表示されている間に、 F2 または Del を押す。
   セットアップユーティリティが起動します。
   パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- 6 「終了」メニューに移動し、[Recovery Partition] を選び、Enter を押す。

# 7 Windows 8.1

[次へ] をクリックし、[ はい] をクリックする。

Windows 7

[Windows を再インストールする。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。

- 8 「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、[はい、上記の条文に同意します。処理を続けま す。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
- **9** [次へ] をクリックする。
  - オプションが表示されたら、選んで[次へ]をクリックしてください。
  - 『Reinstall Windows to the whole Disk to factory default.] 再インストール後、ハードディスクが工場出荷時の状態になるようにする場合に選びます。再インストール のあとでハードディスクをいくつかのパーティションに分割することができます。新しいパーティションを 作る方法については、「パーティションを変更する」(→16 ページ)をご覧ください。
  - [Reinstall to the OS related partitions.]<sup>\*1</sup> ハードディスクがいくつかのパーティションに分割されていて、パーティションの構成を変更したくない場合に選びます。新しいパーティションを作る方法については、「パーティションを変更する」(→16ページ)をご覧ください。
    - <sup>\*1</sup> 修復用領域と Windows で使える領域に Windows をインストールできない場合は表示されません。
- 10 Windows 7 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。

- 11 (Windows 7) 言語とシステムタイプ(32 ビットまたは64 ビット)を選択し、[OK] をクリック する。 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。 リカバリー手順をキャンセルする場合は[キャンセル]をクリックし、画面右上の 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。 12 インストールが始まります(約20分かかります)。 ● パソコンの電源を切るなどして、インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、 データが消失してインストールを実行できなくなったりするおそれがあります。 終了のメッセージが表示されたら[OK] をクリックして電源を切る。 13 14 パソコンの電源を入れる。 ● パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。 「はじめて使うとき」の手順5(→15ページ)を実行する。 15 お知らせ ● 日付や時刻、タイムゾーンを確認してください。 セットアップユーティリティを起動し、必要に応じて設定を変更する。 16 Windows Update を行う。 17 リカバリーディスクを使う 以下の場合はリカバリーディスクを使用してインストールしてください。 ・管理者のパスワードを忘れた場合 インストールが完了しない場合。ハードディスクの修復用領域が壊れている可能性があります。 ・ Windows 7 < Windows 7 ダウングレードモデルのみ> OS を Windows 7 から Windows 8.1、またはその逆に変更する場合 お知らせ Windows 7 使用するOS を32 ビットから64 ビット、またはその逆に切り替える場合は、ハードディスクリカバ リー機能を使ってインストールしてください。 準備 次のものを準備してください。 リカバリーディスク (→ 空) 『Reference Manual』 「Recovery Disc Creation Utility」)
  - すべての周辺機器を取り外してください。
  - AC アダプターを接続し、操作が完了するまで取り外さないでください。
  - 1 セットアップユーティリティを起動する。

### Windows 8.1

① チャームを表示し、 🖸 - [PC 設定の変更] - [保守と管理] - [回復] をクリックする。

②「PC の起動をカスタマイズする」の[今すぐ再起動する]をクリックする。

③ [トラブルシューティング] - [詳細オプション] - [UEFI ファームウェアの設定] - [再起動] をクリックする。
 Windows 7

パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、 F2 または Del を数回押す。

- [Panasonic] 起動画面が表示されない場合は、 F2 または Del を押したままパソコンの電源を入れてください。
- パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティのすべての項目をメモし、F9 を押す。
   確認メッセージで[はい]を選び、Enter を押してください。

### 3 [UEFI起動] の設定を確認する

Windows 8.1 のリカバリーディスクを使用する場合:「有効」 Windows 7 のリカバリーディスクを使用する場合:「無効」

4 リカバリーディスクをDVD ドライブにセットする。

5 <u>F10</u>を押す。

確認のメッセージが表示されたら[はい] を選び、 Enter を押してください。 パソコンが再起動します。

- 6 「Panasonic」起動画面が表示されている間に、 F2 または Del を押す。
   セットアップユーティリティが起動します。
   パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- 7 「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」でDVD ドライブを選び、<u>Enter</u>を押 す。

パソコンが再起動します。

- 8 [Windows を再インストールする。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
- 9 Windows 8.1 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。
- 10 「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、[はい、上記の条文に同意します。処理を続けま す。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
- 11 Windows 7 [次へ] をクリックする。
  - オプションが表示されたら、選択して[次へ] をクリックしてください。
    - [Reinstall with HDD recovery partition.]
       一般的な手順です。HDD のリカバリー領域からリカバリーします。
    - [Reinstall without HDD recovery partition.] HDD の使用可能領域が増えますが、HDD のリカバリー領域からのリカバリーはできません。 このオプションを選択すると、リカバリーディスクは作成できません。

お願い

● オプションを選択すると、後で変更できません。

### 12 [次へ] をクリックする。

- [Reinstall Windows to the whole Disk to factory default.] 再インストール後、ハードディスクが工場出荷時の状態になるようにする場合に選びます。再インストール のあとでハードディスクをいくつかのパーティションに分割することができます。新しいパーティションを 作る方法については、「パーティションを変更する」(→16 ページ)をご覧ください。
- [Reinstall to the OS related partitions.]<sup>\*2</sup> ハードディスクがいくつかのパーティションに分割されていて、パーティションの構成を変更したくない場合に選びます。新しいパーティションを作る方法については、「パーティションを変更する」(→16ページ)をご覧ください。
   \*2 恢復用領域 b Windows で使きる領域に Windows たくいても、サイヤン 想合はまったわませく
  - \*2 修復用領域と Windows で使える領域に Windows をインストールできない場合は表示されません。

### 13 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。

### 14 Windows 7

言語とシステムタイプ(32 ビットまたは64 ビット)を選び、[OK] をクリックする。 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。

リカバリー手順をキャンセルする場合は[キャンセル]をクリックし、画面右上の 🔤 をクリックする。

### Windows 8.1 / Windows 7

- インストールが始まります(約30~45分かかります)。
- パソコンの電源を切るなどして、インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、 データが消失してインストールを実行できなくなったりするおそれがあります。
- 15 終了のメッセージが表示されたら、リカバリーディスクを取り出す。 画面の指示に従って操作してください。 モデルによってはここから約40分かかる場合があります。
- 16 「はじめて使うとき」の手順5 (→15ページ)を実行する。
- 17 セットアップユーティリティを起動し、必要に応じて設定を変更する。
- 18 Windows Update を行う。

# 困ったときの Q&A

トラブルが発生した場合は、下記の方法をお試しください。『Reference Manual』でもさらに詳しい内容を紹介しています。ソフトウェアに関する問題については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。それでも解決しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。(→型 『Reference Manual』 「Troubleshooting (Advanced)」の「Checking the Computer's Usage Status」)。

■ 電源を入れたとき

起動できない。 電源状態表示ランプまたは バッテリー状態表示ランプ が点灯しない。	<ul> <li>AC アダプターを接続してください。</li> <li>満充電されたバッテリーパックを取り付けてください。</li> <li>バッテリーパックと AC アダプターをいったん取り外し、取り付け直してください。</li> <li>AC アダプターとバッテリーパックが正しく取り付けられているのにバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、AC アダプターの保護回路が働いている可能性があります。電源コードを外し、3 分以上経過してから電源コードを接続し直してください。</li> <li>USB 機器を接続している場合は、機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「USB ポート」または「レガシー USB」を「無効」に設定してください。</li> <li>エクスプレスカード経由で機器を接続している場合は、機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「ExpressCard スロット」を「無効」に設定してください。</li> <li>Fn + F8 を押して Concealed Mode を解除してください。</li> <li>セットアップユーティリティで「UEFI 起動」の設定を確認してください。「UEFI 起動」は Windows 81 「有効」/ Windows 7 「無効」で使用してください。</li> </ul>
電源は入っているが、 「Warming up the system (up to 30 minutes)」が表示 される。	<ul> <li>● 低温時にハードディスクの誤動作を防ぐために予熱を行っています。起動するまでお待ちください(最長 30 分)。ハードディスクが正常に動作する温度にならなかった場合は、「Cannot warm up the system」と表示され、パソコンが起動しません。その場合はパソコンの電源を切り、5°C ~ 35°C の温度環境に約1時間置き、その後電源を入れてください。</li> </ul>
RAM モジュールを装着また は交換した後、電源は入って いるが画面に何も表示されな い。	● パソコンの電源を切って RAM モジュールを取り外し、仕様に合ったものか確認してください。仕様に合ったものの場合は、装着し直してください。
スクリーンセーバーの実行中 にパソコンがスリープ状態に ならない。	<ul> <li>● 電源スイッチを 4 秒以上押し続けてパソコンを強制終了してください(保存していないデータは失われます)。再度電源を入れてスクリーンセーバーをオフにしてください。</li> </ul>
電源状態表示ランプが点灯す るのに時間がかかる。	<ul> <li>AC アダプターを接続していない状態で、バッテリーパックを装着した直後にパソコンの電源を入れると、電源を入れてから電源状態表示ランプが点灯するまでに約5秒かかる場合があります。これはパソコンがバッテリーの残量を確認しているためで、故障ではありません。</li> </ul>
パスワードを忘れた。	<ul> <li>スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを忘れたとき:ご相談窓口にご相談ください。</li> <li>コンピューターの管理者のパスワードを忘れたとき:</li> <li>管理者権限を持つアカウントがほかにある場合は、そのアカウントでログインし、問題のアカウントを削除してください。</li> <li>パスワードリセットディスクがある場合は、ディスクをセットし、適当なパスワードを入力してパスワード入力エラーの画面を表示させてください。その後、画面の指示に従って、新しいパスワードを設定してください。 上記のどちらも実行できない場合は、Windowsを再インストールして(→22ページ)、セットアップをし直してください。</li> </ul>

困ったときは

### ■ 電源を入れたとき

「Remove disks or other media. Press any key to restart」または同様のメッ セージが表示される。	<ul> <li>システムを起動できないフロッピーディスクまたは USB メモリーがセットされています。フロッピーディスクまたは USB メモリーを取り出し、いずれかのキーを押してください。</li> <li>USB 機器を接続している場合は、機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「USB ポート」または「レガシー USB」を「無効」に設定してください。</li> <li>&lt;エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ&gt;エクスプレスカード経由で機器を接続している場合は、機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「ExpressCard スロット」を「無効」に設定してください。</li> <li>セットアップユーティリティの「起動」メニューで「UEFI 起動」を「無効」に設定してください。</li> <li>上記を行っても解決しない場合は、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。</li> </ul>
Windows の起動および動作 が遅い。	<ul> <li>セットアップユーティリティで ● を押して(→ ② 『Reference Manual』 「Setup Utility」)、設定(パスワード設定を除く)を工場出荷時の設定に戻してくだ さい。再度セットアップユーティリティを起動し、各種設定をしてください。(動 作速度は、使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、この操作に より必ず速くなるわけではありません。)</li> <li>お買い上げ後にインストールした常駐ソフトウェアがある場合は、そのソフト ウェアの常駐を解除してください。</li> </ul>
日付と時刻が正しくない。	<ul> <li>下記の操作で正しい日付と時刻を設定してください。         <ul> <li>コントロールパネルを開く</li> <li>Windows 8.1</li> <li>1. 次のいずれかの手順を行う。                 <ul> <li>デスクトップ画面の左下にある</li> <li>を右クリックする。</li> <li>スタート画面で <ul></ul></li></ul></li></ul></li></ul>
[バッテリー残量表示補正 ユーティリティ ] 画面が表 示される。	● バッテリー残量表示補正を実行したとき、Windows が正しい手順で終了しなかったため補正が中断されました。補正を中止し、Windows を起動するには、パソコンの電源をいったん切り、再度電源を入れてください。

■ 電源を入れたとき	
スリープ/休止状態からリ ジュームしたとき、[パス ワードを入力してください] が表示されない。	<ul> <li>セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「復帰時のパスワード」を「有効」に設定してください(→ ① 『Reference Manual』「Setup Utility」)。</li> <li>セットアップユーティリティのパスワードの代わりに、以下の手順で Windows の パスワードを使用することもできます</li> <li>① パスワードを追加する。</li> <li>Windows 8.1</li> </ul>
	1. チャームを表示し、 🔂 - [PC 設定の変更] - [アカウント] をクリックする。 2. [サインイン オプション] をクリックして、「パスワード」の[追加] をクリッ クする。 Windows 7
	<ol> <li>1.</li></ol>
	<ul> <li>Windows 8.1</li> <li>1. コントロールパネルを開き、[システムとセキュリティ] - [電源オプション] - [スリープ解除時のパスワード保護]をクリックする。</li> <li>2. [パスワードを必要とする] を選択する。</li> <li>Windows 7</li> </ul>
	1. [システムとセキュリティ] - [電源オプション] - [スリープ解除時パスワードの 保護] をクリックし、[パスワードを必要とする] を選択する。
リジュームできない。	<ul> <li>次のいずれかの操作をした可能性があります。電源スイッチを押してパソコンの電源を入れてください。保存していないデータは失われます。</li> <li>スリープ状態のときに AC アダプター、バッテリーあるいは周辺機器の着脱を行った。</li> <li>電源スイッチを4秒以上スライドさせてパソコンを強制終了した。</li> <li>スクリーンセーバーの表示中に自動的にスタンバイまたは休止状態に入ると、エラーが起こる場合があります。その場合は、スクリーンセーバーをオフにするか、別のスクリーンセーバーに変更してください。</li> </ul>

その他の起動時のトラブル	<ul> <li>セットアップユーティリティで ● を押して(→ ○) 『Reference Manual』 [Setup Utility])、設定(パスワード設定を除く)を工場出荷時の設定に戻してくだ さい。再度セットアップユーティリティを起動し、各種設定をしてください。</li> <li>周辺機器をすべて取り外してください。</li> <li>ディスクのエラーをチェックしてください。</li> <li>外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。</li> </ul>
	<ul> <li>② Windows 8.1</li> <li>次のいずれかの手順を行う。</li> <li>・ デスクトップ画面の左下にある </li> <li>・ スタート画面で </li> <li>シ をクリックする。</li> <li>Windows 7</li> </ul>
	<ul> <li>③ (スタート) - [コンピューター]をクリックする。</li> <li>③ [エクスプローラー]をクリックする。</li> <li>④ Windows 8.1 [Windows (C:)] / Windows 7 [ローカルディスク(C:)]を右ク</li> </ul>
	<ul> <li>5 9 9 0、[ワロハワィ]をフリックする。</li> <li>⑤ [ツール] - Windows 8.1 [チェック] / Windows 7 [チェックする] をクリックする。</li> <li>・標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。</li> </ul>
	<ul> <li>⑥ 以降は画面の指示に従って操作を行う。</li> <li>● Windows 7         下記の方法で、パソコンをセーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。     </li> </ul>
	<ul> <li></li></ul>

■ パスワード入力

パスワードを入力しても 再	● NumLk ランプ ① の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。
度入力を求められる。	<u>NumLk</u> を押して解除してください。
	● Caps Lock ランプÂの点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。
	<u>Shift</u> + <u>Caps Lock</u> を押して解除してください。
「ユーザー名またはパスワー	● ユーザー名に「@」が使用されています。
ドが止しくありません」と	別のユーザーアカウントがある場合:
表示され、Windows にロク	別のユーザーアカウントで Windows にログオンし、「@」を含むユーザーアカウ
オンできない。	ントを削除してください。その後、新しいユーザーアカウントを作成してくださ
	$\mathcal{L}$
	別のユーザーアカウントがない場合:
	再インストールが必要です。( <b>→</b> 22 ページ)

■ 終了時

Windows を終了できない。	<ul> <li>● USB 機器とエクスプレスカードを取り外してください。</li> <li>● 1~2分お待ちください。故障ではありません。</li> </ul>
------------------	---

■ ディスプレイ	
画面に何も表示されない。	<ul> <li>外部ディスプレイが選択されています。</li></ul>
画面が暗い。	<ul> <li>AC アダプターが接続されていないと画面が暗くなります。 Fn + F2 を押して、輝度を調整してください。ただし、輝度を上げるとバッテリーの消耗が早くなります。</li> <li>AC アダプターを接続しているときと接続していないときの輝度は、別々に保存されます。</li> <li>Fn + F8 を押して Concealed Mode を設定してください。</li> </ul>
画面が乱れる。	<ul> <li>解像度や色数を変更すると画面が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。</li> <li>本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行うと画面が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。</li> <li>パソコンをリジュームしたときに画面が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。</li> </ul>
同時画面表示時に片方の画 面が乱れる。	<ul> <li>拡張デスクトップモード時は、LCD と外部ディスプレイを同じ色設定にしてください。 それでも問題が解決しない場合は、下記の操作でディスプレイを変更してみてください。 デスクトップを右クリックし、[グラフィックス・プロパティー…]-[ディスプレイ] をクリックする。</li> <li>Windows が完全に起動し終わるまで、同時画面表示を行うことはできません(セット アップユーティリティの画面を表示しているときなど)。</li> </ul>
外部ディスプレイが正しく 動作しない。	● 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、パソコンが省電力モードに入る と正しく動作しなくなることがあります。外部ディスプレイの電源を切ってください。
<ul> <li>■ フラットパッド/タッチ/</li> </ul>	(ネル(タッチパネル対応モデルのみ)
ポ <mark>インターが動かない。</mark>	<ul> <li>外部マウスを使用している場合は、正しく接続し直してください。</li> <li>キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。</li> <li>キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」(→31 ページ)をご覧ください。</li> </ul>
フラットパッドを使って入 力できない。	<ul> <li>セットアップユーティリティの [メイン] メニューで [フラットパッド] を [有効] に 設定してください。</li> <li>マウスのドライバーによっては、フラットパッドが使えないことがあります。マウ スの取扱説明書でご確認ください。</li> </ul>
付属のペンで正しい位置を 指定できない。	<ul> <li>タッチパネルの補正(キャリブレーション)を実行してください(→ 空) 『Reference Manual』「Screen Input Operation」)。</li> </ul>
Windows 8.1 < タッチパネル対応モデルのみ > クリック操作でチャームを表示しづらい。	<ul> <li>● 画面の右端から中央に向かってフリックしてください。</li> <li>● 付属のペンを使用してください。</li> </ul>

■ 画面で見るマニュアル

Windows 7	<ul> <li>Adobe Reader をインストールしてください。         <ol> <li>管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンする。</li> <li>(スタート)をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に</li></ol></li></ul>
PDF 形式のマニュアルが表	[c:\util\reader\en\Pinstall.bat]と入力して、Enter を押す。
示されない。	画面の指示に従って操作してください。
	③ Adobe Readerを最新バージョンにアップデートする。 パソコンがインターネットに接続されている場合は、Adobe Readerを起動し、 [ヘルプ] - [アップデートの有無をチェック] をクリックする。

# ■ CD/DVD ドライブ

エマージェンシーホールに 先のとがったものを挿入し たが、トレイが出てこない。	<ul> <li>直径 1.3 ミリ以下のピン(クリップを引き伸ばしたものなど)をエマージェンシーホール(A)に挿し込んで、ディスクを取り出してください。ピンの直径がこれより小さい場合には、やや下向きにピンを挿入してください。</li> </ul>	
---	--	--

### ■ その他

応答がない。	<ul> <li>Ctrl + Shift + Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。</li> <li>入力待ち画面(起動時のパスワード入力画面など)が別のウィンドウで隠れていませんか? Alt + Tab を押して確認してください。</li> <li>電源スイッチを4秒以上押し続けて電源を切った後、再度電源スイッチを押して電源を入れてください。アプリケーションソフトが正しく動作しない場合は、下記の操作でそのソフトをアンインストールし、再度インストールしてください。</li> <li>① コントロールパネルを開く</li> <li>Windows7</li> <li>1. 次のいずれかの手順を行う。</li> <li>デスクトップ画面の左下にある ■ を右クリックする。</li> <li>スタート画面で ● をクリックする。</li> <li>2. コントロールパネルを欠く</li> </ul>
	1. 次のいずれかの手順を行う。
	・ デスクトップ画面の左下にある 🔣 を右クリックする。
	• スタート画面で 💽 をクリックする。
	2. [コントロールパネル] をクリックする。
	Windows 7
	🚱 (スタート) - [コントロールパネル]をクリックする。
	② [プログラム] - [プログラムのアンインストール]をクリックする。
文字が正しく入力できない	● Windows の設定とキーボードの設定で同じ言語を選択してください。

# ソフトウェア使用許諾書

- 第1条 権利 お客さまは、本ソフトウェア(パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや CD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます)の使用権を得ることはできますが、著作権がお客さまに移転するものではありません。
- 第2条 第三者の使用 お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるい は使用させることはできません。
- 第3条 コピーの制限
- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。
- 第4条 使用パソコン
- 本ソフトウェアは、本パソコン1台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
- 第5条 解析、変更または改造
  - 本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造 により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切 の保証・責任を負いません。
- 第6条 アフターサービス お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合 わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改 良など必要な情報をお知らせいたします。
- 第7条 免責
  - 本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条に限ります。本ソフトウェアのご 使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および 販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。

第8条 合意管轄

本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を 管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

第9条 準拠法

本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるも のとします。

第 10 条 輸出管理 お 家 さまっ

お客さまが、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守 してください。

本製品(付属品を含む)は日本国内仕様です。 このページには基本モデルの仕様を掲載しています。モデルによって品番および仕様は異なります。

 品番を確認するには パソコンの底面または購入時の梱包をご確認ください。
 CPUのスピード、メモリー容量、ハードディスク容量を確認するには

セットアップユーティリティの [ 情報 ] メニューを選択してください。(→ 型 『Reference Manual』 [ Setup Utility ]

■ 本体仕様

CPU / 2 次キャッシュメモリー		インテル <sup>®</sup> Core i5-4310U プロセッサー(キャッシュ 3 MB <sup>*1</sup> 、2.0 GHz ~最大 3.30 GHz)イ ンテル <sup>®</sup> ターボ・ブースト・テクノロジー利用時		
チップセット		プロセッサーに内蔵		
ビデオコントローラー		インテル <sup>®</sup> HD Graphics 4400(プロセッサーに内蔵)		
メインメモリ	J— <sup>*2</sup>	4 GB <sup>*1</sup> DDR3L SDRAM(最大 16 GB <sup>*1</sup> )		
ストレージ		HDD: (500 GB / 1 TB / 320 GB) <sup>*3</sup> SSD: (512 GB / 256 GB / 128 GB) <sup>*3</sup> Windows 8.1 約 20 GB <sup>*3</sup> を修復用領域として使用(ユーザー使用不可) 約 1 GB <sup>*3</sup> をシステム領域として使用(ユーザー使用不可) Windows 7 約 45 GB <sup>*3</sup> を修復用領域として使用(ユーザー使用不可) 約 300 MB <sup>*3</sup> をシステム領域として使用(ユーザー使用不可)		
CD/DVD ドラ	ライブ	DVD MULTI ドライブ、バッファアンダーランエラー防止機能		
連続デー   夕転送速   度 <sup>*4*5</sup>	連続デー タ転送速 度*4*5 読み込み <sup>*6</sup> DVD-RAM <sup>*7</sup> : 最大 5 倍速、DVD-R <sup>*8</sup> : 最大 8 倍速、DVD-R DL: 最大 8 倍速、DVD-R V 倍速、DVD-ROM: 最大 8 倍速、+R: 最大 8 倍速、+R DL: 最大 8 倍速、+RW: 最大 8 High Speed +RW: 最大 8 倍速、CD-ROM: 最大 24 倍速、CD-R: 最大 24 倍速、CD-R: 最大 24 倍速、CD-R 24 倍速、High-Speed CD-RW: 最大 24 倍速、Ultra-Speed CD-RW: 最大 24 倍速			
	書き込み <sup>*9</sup>	DVD-RAM <sup>*7</sup> : 最大 5 倍速、DVD-R <sup>*8</sup> : 最大 8 倍速、DVD-R DL: 最大 6 倍速、DVD-RW: 最大 8 倍速、+R: 最大 8 倍速、+R DL: 最大 6 倍速、+RW: 最大 4 倍速、High Speed +RW: 最大 8 倍 速、CD-R: 最大 24 倍速、CD-RW: 4 倍速、High-Speed CD-RW: 10 倍速、Ultra-Speed CD- RW: 最大 24 倍速		
対応ディ スクおよ び対応 フォー マット		DVD-ROM (1 層、2 層)、DVD-Video、DVD-R <sup>*8</sup> (1.4 GB, 3.95 GB, 4.7 GB) <sup>*3</sup> 、DVD-R DL (8.5 GB) <sup>*3</sup> 、DVD-RW (Ver.1.1/1.2 1.4 GB, 2.8 GB, 4.7 GB, 9.4 GB) <sup>*3</sup> 、DVD-RAM <sup>*7</sup> (1.4 GB, 2.6 GB, 2.8 GB, 4.7 GB, 5.2 GB, 9.4 GB) <sup>*3</sup> 、+R (4.7 GB) <sup>*3</sup> 、+R DL (8.5 GB) <sup>*3</sup> 、+RW (4.7 GB) <sup>*3</sup> 、 High Speed +RW (4.7 GB) <sup>*3</sup> 、CD-Audio、CD-ROM (XA compatible)、CD-R、Photo CD (マルチ セッション対応)、Video CD、CD-EXTRA、CD-RW、CD-TEXT、High-Speed CD-RW、Ultra- Speed CD-RW		
	書き込み	DVD-RAM <sup>*7</sup> (1.4 GB, 2.8 GB, 4.7 GB, 9.4 GB) <sup>*3</sup> 、DVD-R (1.4 GB, 4.7 GB for General) <sup>*3</sup> 、DVD-R DL (8.5 GB) <sup>*3</sup> 、DVD-RW (Ver.1.1/1.2 1.4 GB, 2.8 GB, 4.7 GB, 9.4 GB) <sup>*3</sup> 、+R (4.7 GB) <sup>*3</sup> 、+R DL (8.5 GB) <sup>*3</sup> 、+RW (4.7 GB) <sup>*3</sup> 、High Speed +RW (4.7 GB) <sup>*3</sup> 、CD-R、Photo CD (マルチセッション対応)、Video CD、CD-EXTRA、CD-RW、CD-TEXT、High-Speed CD-RW、Ultra-Speed CD-RW、CD-Audio		
表示方式		14 型 TFT カラー液晶(タッチパネル付)(1366 × 768 ドット)		
内部 LCD		65536 色/約 1677 万色(800 × 600 ドット/ 1024 × 768 ドット/ 1280 × 600 ドット/ 1280 × 720 ドット/ 1280×768 ドット/ 1360 × 768 ドット/ 1366 × 768 ドット) <sup>*10</sup>		
外部ディスプレイ <sup>*11</sup>		65536 色/約 1677 万色(800 × 600 ドット/ 1024 × 768 ドット/ 1280 × 768 ドット/ 1600 × 1200 ドット / 1920 × 1080 ドット/ 1920 × 1200 ドット)		
無線 LAN <sup>*12</sup>		Intel <sup>®</sup> Dual Band Wireless-N 7265 ➔35 ページ		
Bluetooth <sup>*13</sup>		→35 ページ		
LAN		IEEE 802.3 10Base-T / IEEE 802.3u 100BASE-TX / IEEE 802.3ab 1000BASE-T (2nd LAN <sup>*14</sup> : IEEE 802.3 10BASE-T, IEEE 802.3u 100BASE-TX)		

### ■ 本体仕様

モデム <sup>*15</sup>		データ: 56kbps (V.92) FAX: 14.4 kbps			
サウンド機能		WAVE、MIDI 音源、インテル <sup>®</sup> High Definition Audio 準拠			
カード	PC カード	Type I または Type II x 1 <sup>*16</sup> (許容電流 3.3 V:400 mA, 5 V: 400 mA)			
	エクスプレスカード *17	エクスプレスカード /34 または エクスプレスカード /54 x 1			
;	SD メモリーカード *18	x 1			
	スマートカードス ロット <sup>*19</sup>	x 1			
メモリースロ	ושר	x 1(DDR3L SDRAM、204 ピン、1.35 V、SO	-DIMM、PC3L-12800 準拠)		
インターフェ	.ース	ISB ポート(4 ピン、Universal Serial Bus 2.0 準拠 ×2、Universal Serial Bus 3.0 準拠 ×2) <sup>*20</sup> 、 /リアルポート(RS232C D-sub 9 ピン)x 1、モデムコネクター(RJ-11)x 1 <sup>*15</sup> 、LAN コネ 7ター(RJ-45)x 1 <sup>*21</sup> または x 2 <sup>*14</sup> 、外部ディスプレイコネクター(アナログ VGA ミニ D- ub 15 ピン)x 1、HDMI 出力端子(Type A)x 1 <sup>*22</sup> 、IEEE1394a コネクター(4 ピン)x 1 <sup>*23</sup> 、 7イク入力端子(ステレオミニジャック M3(コンデンサーマイクを使用のこと))x 1、オー ディオ出力端子(ステレオミニジャック M3、インピーダンス 32 Ω、出力 4 mW x 2)x 1、拡 長バスコネクター(100 ピン)x 1、ラグド USB 2 0 ポート x 1 <sup>*24</sup>			
キーボード/ポ	パインティングデバイス	88/87 キー、フラットパッド         88/87 キー、フラットパッド、タッチスク           リーン			
指紋センサー	*25	画像サイズ: 200 × 400 ピクセル解像度: 508 DPI			
カメラ <sup>*26</sup>		読み取り画素数:1280 × 720 ピクセルまで、30 fps(ビデオ)、モノラルマイク			
電源		AC アダプターまたはバッテリーパック			
AC アダプタ・	*27	入力:AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力:DC 15.6 V、7.05 A、電源コード:100 V 対応			
バッテリーバ	<b>パック</b>	10.8 V(リチウムイオン)公称容量 6750 mAh / 定格容量 6300 mAh(CF-VZSU71U 使用時) 10.8 V(リチウムイオン)公称容量 4500 mAh / 定格容量 4200 mAh(CF-VZSU72U 使用時) 10.65 V(リチウムイオン)公称容量 8550 mAh / 定格容量 8100 mAh(CF-VZSU46AT 使用 時)			
駆動時間 *28	8	約 15 時間(CF-VZSU71U 使用時) 約 10 時間(CF-VZSU72U 使用時) 約 19 時間(CF-VZSU46AT 使用時)			
充電時間 <sup>*29</sup>	9	約 2 時間(CF-VZSU71U / CF-VZSU72U 使用 約 3 時間(CF-VZSU46AT 使用時)	寺)		
消費電力/エニ *30	ネルギー消費効率	最大約 100 W <sup>*31</sup> / 2011 年度基準 N 区分 0.070 (社)電子情報技術産業協会情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値:25 W 23-1-1			
外形寸法(幅 (ハンドル含む	× 奥行き × 高さ) ĵ)	340 mm × 281 mm × 46 - 55 mm			
質量(ストラ	ラップ含む)	約 2.65 kg (CF-VZSU71U 使用時) 約 2.55 kg (CF-VZSU72U 使用時) 約 2.69 kg (CF-VZSU46AT 使用時)	約 2.95 kg		
使用環境条件	-	温度: (HDD ヒーターなしモデル)0 °C ~ 50 °C(IEC60068-2-1, 2) <sup>*32</sup> (HDD ヒーター付きモデル)-10 °C ~ 50 °C(IEC60068-2-1, 2) <sup>*32</sup> 湿度: 30% ~ 80% RH(結露なきこと)			
保管環境条件	=	温度:-20 °C ~ 60 °C   湿度:30% ~ 90% RH(結露なきこと)			
■ ソフトウ	ェア				

### ■ ソフトウェア

インストール OS <sup>*33</sup>	Windows 8.1 Windows <sup>®</sup> 8.1 Pro Update 64 ビット Windows 7 Windows <sup>®</sup> 7 Professional 32 ビット(Service Pack 1 適用済み) <sup>*34</sup> / Windows <sup>®</sup> 7 Professional 64 ビット(Service Pack 1 適用済み) <sup>*34</sup>
導入済みソフトウェア	Adobe Reader、PC 情報ビューアー、Intel <sup>®</sup> PROSet/Wireless Software <sup>*12</sup> 、Intel <sup>®</sup> PROSet/ Wireless Software for Bluetooth <sup>®</sup> Technology <sup>*13</sup> 、Hotkey 設定、バッテリー残量補正ユーティリ ティ、Aptio セットアップユーティリティ、PC-Diagnostic ユーティリティ、Roxio Creator LJB、 CyberLink PowerDVD 10、ディスプレイセレクター、ハードディスクデータ消去ユーティリ ティ <sup>*36</sup> 、リカバリーディスク作成ユーティリティ、Dashboard for Panasonic PC、電源プラン 拡張ユーティリティ、カメラユーティリティ <sup>*26</sup> 、マニュアルセレクター、Microsoft Office Trial <sup>*37</sup> 、DDS EVE FA Standalone for Panasonic <sup>*25*35</sup> Windows 8.1 無線ツールボックス Windows 7 無線切り替えユーティリティ、無線接続無効ユーティリティ <sup>*12*35</sup> 、クイックブートマネー ジャー

■ 無線 LAN<sup>\*12</sup>

データ転送速度(規格値)	IEEE802.11a: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps(自動切替) <sup>*38</sup> IEEE802.11b: 11/5.5/2/1 Mbps(自動切替) <sup>*38</sup> IEEE802.11g: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps(自動切替) <sup>*38</sup> IEEE802.11n <sup>*39</sup> : (HT20) GI <sup>*40</sup> = 400ns: 150/130/115/86/72/65/57/43/28/21/14/7 Mbps (自動切替) <sup>*38</sup> GI <sup>*40</sup> = 800ns: 130/117/104/78/65/58/52/39/26/19/13/6 Mbps (自動切萃) <sup>*38</sup>		
	(HT40) GI <sup>*40</sup> = 400ns: 300/270/240/180/150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (自動切替) <sup>*38</sup> GI <sup>*40</sup> = 800ns: 270/243/216/162/135/121/108/81/54/40/27/13 Mbps (自動切替) <sup>*38</sup>		
 準拠規格	IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n		
伝送方式	OFDM 方式、DSSS 方式		
有効距離 <sup>*41</sup>	IEEE802.11a/n:見通し約 30 m IEEE802.11b/g/n:見通し約 50 m (アクセスポイントとの通信時)		
使用無線チャンネル	IEEE802.11a:36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144/ 149/153/157/161/165 チャンネル(使用国による) IEEE802.11b / IEEE802.11g:1~11または1~13(使用国による) IEEE802.11n:1-13/36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/ 144/149/153/157/161/165 チャンネル(使用国による)		
RF 周波数带域 <sup>*42</sup>	IEEE802.11a : 5.18 GHz ~ 5.32 GHz、 5.5 GHz ~ 5.825 GHz IEEE802.11b / IEEE802.11g : 2.412 GHz ~ 2.472 GHz IEEE802.11n : 2.412 GHz ~ 2.472 GHz、 5.18 GHz ~ 5.32 GHz、 5.5 GHz ~ 5.825 GHz		

# ■ Bluetooth<sup>® \*13</sup>

Bluetooth バージョン	4.0	
	通常モード/低消費電力モード	
伝送方式	FHSS 方式	
使用無線チャンネル	1 ~ 79 チャンネル / 0 ~39 チャンネル	
RF 周波数带域	2.402 GHz ~ 2.48 GHz	

\*1 1 MB = 1,048,576 バイト / 1 GB = 1,073,741,824 バイト

\*2 メモリーは 8 GB まで増設することができますが、システム構成によっては、使用可能メモリーの合計はそれより少なくなります。

\*3 1 GB = 1,000,000,000 バイト / 1 TB = 1,000,000,000 ,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも 小さな数値で GB 表示される場合があります。

<sup>\*4</sup> データ転送速度は当社測定値。DVDの1倍速の転送速度は1,350 KB/ 秒。CDの1倍速の転送速度は150 KB/ 秒。

必要なときに

# 仕様

- <sup>\*5</sup> CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、および +RW の転送速度は、書き込み状態および 記録フォーマットによって異なります。 また、ディスクや設定および使用環境の違いにによって、データが再生できないことがあります。 DVD-R DL、+R DL (2 層式ディスク) および Ultra-Speed CD-RW の書き込みはできません。 <sup>\*6</sup>偏重心のディスク(重心が中央にないディスク)を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。 <sup>\*7</sup> DVD-RAM は、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスク(Type2、Type4)のみ使用できます。 <sup>\*8</sup> 4.7 GB までの DVD-R (for General) に対応。DVD-R (for Authoring) は、ディスクアットワンス方式で記録されたディスクに対応。 <sup>\*9</sup> 使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。 <sup>\*10</sup> グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して 16,777,216 万色表示を実現しています。 <sup>\*11</sup> 最大解像度は外部ディスプレイの仕様に応じて異なります。接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。 <sup>\*12</sup> 無線 LAN 搭載モデルのみ <sup>\*13</sup> すべての Bluetooth 機器との動作を保証するものではありません。 <sup>\*14</sup> 2nd LAN 搭載モデルのみ <sup>\*15</sup> モデム内蔵モデルのみ <sup>\*16</sup> PCカードスロット内蔵モデルのみ <sup>\*17</sup> エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ <sup>\*18</sup> ハイスピードモードに対応しています。容量 64 GB までの当社製 SD/SDHC/SDXC メモリーカードの動作を確認済み。
- すべての SD 機器との動作を保証するものではありません。
- <sup>\*19</sup> スマートカードスロット内蔵モデルのみ
- <sup>\*20</sup> すべての USB 機器との動作を保証するものではありません。
- <sup>\*21</sup> 2nd LAN 非搭載モデルのみ
- <sup>\*22</sup> すべての HDMI 機器との動作を保証するものではありません。
- <sup>\*23</sup> IEEE インターフェースコネクター搭載モデルのみ
- <sup>\*24</sup> ラグド USB 2.0 ポート搭載モデルのみ
- <sup>\*25</sup> 指紋センサー内蔵モデルのみ
- <sup>\*26</sup> カメラ内蔵モデルのみ。仕様は、モデルによって異なります。
- \*<sup>27</sup>本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。(→3 ページ) 20-J-1
   \*<sup>28</sup> JEITA バッテリー動作時間測定法(Ver.1.0)による駆動時間。LCD 輝度 60 cd/m<sup>2</sup> でのバッテリー駆動時間。バッテリー駆動時間 は、動作環境/システム設定により変動します。
- \*29 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。
- <sup>\*30</sup> エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。 <sup>\*31</sup> パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約 0.5 W の電力を消費します。AC
- アダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、AC アダプター単体で最大 0.2W の電力を消費します。
- <sup>\*32</sup> 高温環境・低温環境で使用する場合、直接触れないでください。(→ 安全上のご注意/法規情報) 高温環境・低温環境で使用する場合、周辺機器の一部は正常に動作しない場合があります。周辺機器の使用環境条件を確認し てください。

高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。このような環境での使用は避けてください。

- 低温環境で使用する場合、起動に時間がかかったり、バッテリー駆動時間が短くなったりすることがあります。また、バッテ リー駆動の場合、起動時にハードディスクの予熱に電力を消費するため、バッテリー残量が少ないとパソコンが起動しない場 合があります。
- <sup>\*33</sup> お買い上げ時にインストールされている OS またはリカバリー機能を使ってインストールした OS のみサポートします。
- <sup>\*34</sup> お買い上げ時にインストールされている OS と、リカバリー機能を使ってインストールする OS を両方同時に使用することはできません。どちらかの OS をインストールしてご使用ください。
- <sup>\*35</sup>使用するにはインストールが必要です。

<sup>\*36</sup> リカバリーディスク上で実行するユーティリティ

#### Windows 7

- または、ハードディスクの修復用領域上で実行するユーティリティ
- <sup>\*37</sup> トライアル期間終了後も使用する場合は、画面の指示に従ってライセンスを購入してください。
- <sup>\*38</sup> IEEE802.11a/b/g/n の理論上の最大値であり、 実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- <sup>\*39</sup>「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」または「none」を設定した場合のみ有効。
- <sup>\*40</sup> パソコンで HT40 が有効になっている場合のみ有効。

<sup>\*41</sup> 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OS などの使用条件によって異なります。

\*<sup>42</sup> IEEE802.11a 準拠の無線 LAN は、無線通信に 5 GHz 帯を使用しています。IEEE802.11a (5.2 GHz/5.3 GHz 帯無線 LAN/W52、W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。

本製品の保証とアフターサービスに ついては、ご相談窓口にご相談くだ さい。 ■ 補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、このパソコンの補修用性能部品(製品の機能を 維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有して います。

■ 海外での使用について 本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには 準拠しておりません。海外での使用について、当社 では一切責任を負いかねます。

また、当社では本製品に関する海外でのアフターサ ービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりま せん。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。 http://askpc.panasonic.co.jp/index.html



(2013年10月1日現在)

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】 パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただ き、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただい ております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開 示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

# 消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、 製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。 本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。 当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	・お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 ・保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ LCD(液晶ディスプレイ) キーボード AC アダプター リチウム電池 DVD MULTI ドライブ	<ul> <li>・修理による再生ができない場合(部品の寿命)に交換する部品です。</li> <li>・保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。</li> <li>※有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります(有償になる場合があります)。</li> </ul>



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラ ムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化 推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための 機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することが できる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファ クシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の 間で統一されています。 22-J-1

愛情点検	長年ご使用のコンピューターの点検を!				
$\bigtriangledown$	こんな症状は ありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った		ご使用 中止	故障や事故防止のため、電源 を切って電源プラグを抜き、 その後バッテリーパックを取 り外して、必ずご相談窓口に 点検をご依頼ください。

**Panasonic Corporation** Osaka, Japan

Panasonic System Communications Company of North America Two Riverfront Plaza Newark, NJ 07102

Panasonic Canada Inc. 5770 Ambler Drive Mississauga, Ontario L4W 2T3

Importer's name & address pursuant to the EU legislation Panasonic System Communications Company Europe, Panasonic Marketing Europe GmbH Hagenauer Straße 43 65203 Wiesbaden Germany

Web Site : http://panasonic.net/avc/pc/

パナソニック株式会社 IT プロダクツ事業部 〒 570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目 10 番 12 号 © Panasonic Corporation 2015

55-J-1